

修学旅行・校外学習

詳細地図付き

大阪 見学体験ガイド

「散策&観賞 大阪編」

自主研修・事前学習の重要施設約100件紹介!



大正区・港区
ものづくり工場見学



OSAKA ENGLISH
VILLAGE



太陽の塔



道頓堀



大阪市
中央公会堂



大阪企業家
ミュージアム



なんばグランド花月



海遊館



大阪取引所 (OSE)



おおさか ATC
グリーンエコプラザ



あべのハルカス



通天閣



ナレッジキャピタル

特集
ページ

歳時記大阪 大阪城公園注目スポット
大正区・港区のものづくり工場見学会
神戸 (人と防災未来センター・南京町)

咲洲注目スポット
アクアライナーとサンタマリア
行程計画ワークシート

修学旅行・校外学習

大阪見学体験ガイド

散策&観賞大阪編

目次	1
大阪の歴史	2~3
大阪広域図	4~5
大阪市中心部図	6~7
大阪・神戸鉄道路線図	8~9
エリア移動早見表	10~11

■梅田・キタ

大阪ステーションシティ (JR大阪駅)	13
グランフロント大阪	13
梅田スカイビル空中展望台	13
ナレッジキャピタル	14
露天神社(お初天神)	14
HEP FIVE観覧車	14
歳時記大阪	15

■中之島・本町・船場

大阪企業家ミュージアム	17
大阪科学技術館 (てくてくテクノ館)	17
東洋陶磁美術館	17
日本取引所グループ 大阪取引所(OSE)	18
朝日新聞大阪本社	18
田辺三菱製薬史料館	18
大阪市立科学館	18
大阪市中央公会堂	19
日本銀行大阪支店	19
国立国際美術館	19

■天満

大阪くらしの今昔館	20
読売新聞大阪本社	21
造幣博物館	21
まほうびん記念館	21
大阪天満宮	21

■大阪城

大阪城	22
豊國神社	22
大阪歴史博物館	23
難波宮跡公園	23
ピースおおさか (大阪国際平和センター)	23
大阪城公園注目スポット	24~25

■心斎橋・なんば・千日前

道頓堀	26
なんばグランド花月	27
水かけ不動(法善寺)	27
黒門市場	27
ワッハ上方(上方演芸資料館)	28
上方浮世絵館	28
アメリカ村	28
千日前道具屋筋商店街	29

■天王寺

新世界	30
通天閣	31
今宮戎神社	31
スパワールド	31
天王寺動物園	32
四天王寺	32
大阪市立美術館	32
あべのハルカス (あべのタスカル)	33
阿倍野防災センター	33
勝鬨院(愛染堂)	33

■ベイエリア

天保山大観覧車	34
海遊館	35
ジーライオンミュージアム	35
咲洲注目スポット	36~37
さきしまコスモタワー展望台	
おおさかATCグリーンエコプラザ	
ATCエイジレスセンター	
かねふくめんたいパークATC	

■その他のエリア

万博記念公園	38
国立民族学博物館	38
太陽の塔	39
大阪日本民芸館	39
ニフレ	40
OSAKA ENGLISH VILLAGE (オオサカ イングリッシュ ビレッジ)	40
日本庭園	41
EXPO'70パビリオン	41
カップヌードルミュージアム	42
小林三記念館	42
ダスキンミュージアム	43
日本民家集落博物館	43
水道記念館	43
花博記念公園鶴見緑地	44
咲くやこの花館	45
津波・高潮ステーション	46
Amazing Kart ISK 大阪舞洲店	46
大阪広域環境施設組合 舞洲工場	47
舞洲スラッジセンター (下水污泥処理施設)	47
大阪人権博物館 (リパティおおさか)	47
住吉大社	48
長居植物園	48
大阪自然史博物館	48
コンペイトウミュージアム	49
関西国際空港(KIX) (わくわく関空見学プラン)	49

■大正区・港区のものづくり工場見学会 50~57

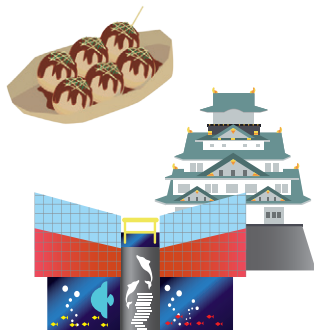
有限会社 南歯車製作所	鈴木合金 株式会社 鶴町工場
成光精密 株式会社	福井精機工業 株式会社
有限会社 飛鳥鉄工所	株式会社 ダイカン
大阪市港湾局 鶴町機械工場	紀洋木材 株式会社
中村工業 株式会社	株式会社 フィル/WALPA壁紙屋本舗
株式会社 日本電機研究所	山忠木材 株式会社
株式会社 木幅計器製作所	味の素冷凍食品 株式会社 大阪工場

■アクアライナーとサンタマリア 58

■神戸エリア

人と防災未来センター	60
南京町	61

見学・体験施設一覧	62~67
行程計画ワークシート	68
行程計画の作り方	69
修学旅行・校外学習トラブルの 予防と対応	70~71
修学旅行・校外学習中の 地震の対処	72
奥付	73



大阪の歴史

おだやかな瀬戸内海に面した大阪は、天然の良港に恵まれ、古くから朝鮮半島や大陸とも往来があった。難波津（現在の大阪港の古名）からは遣隋使・遣唐使が出発し、周囲はまさに国際交流の一大拠点だったようだ。政治的にも重要な地域だったようで、孝徳天皇2年（645）の「大化の改新」に際して造営された難波長柄豊碕宮（前期難波宮）や、聖武天皇によって副都として造営された後期難波宮など、いくつもの都が造られてきた。現在も、大阪周辺には、令和元年（2019）にユネスコ世界文化遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」があり、その古墳群のなかでも日本最大「仁徳天皇陵古墳」をはじめとする巨大な古墳や、聖徳太子創建という四天王寺など、古代の繁栄をしのぶ遺跡が伝わっている。

国の中心である都は、奈良・京都・大阪などを転々とし、京都の平安京に落ち着くまでに度々遷都している。しかし、奈良の大和川や京都の淀川が流れ込む大阪は、その河口として常に重視されてきた。

平安・鎌倉時代になると、浄土信仰と共に熊野詣が流行する。これにより、天満橋から北浜の南岸にあった渡辺津を起点に四天王寺、住吉大社を経て熊野へと続くコースが成立し、参拝と行楽を兼ねて多くの人々が行き交い、街道の整備も進んでいった。この頃は、陸地に大きくせり出していた河内湖（現在の河内平野）が、沖積作用により埋ってゆき次第に陸地化していった時期でもある。

こうして、地形的にも現在の大阪に近づいてくるわけだが、今につづく大阪の基盤の成立は、室町時代の本願寺第8世蓮如がきっかけになっている。浄土真宗本願寺の中興の祖ともいえる蓮如は、明応5年（1496）渡辺津に、のちの石山本願寺となる石山御坊の建設をはじめている。もともとは蓮如の隠居坊としてはじまったものだが、蓮如が慕ってここを崇敬する門徒も多かったようだ。次第に、石山本願寺の勢力は、本山であった山科本願寺をも圧倒するほどに成長し、御坊周辺は寺内町として栄えていった。御坊は上町台地の坂にあったことから、あたりは小坂と呼ばれ、現在の地名「おおさか」の語源になったといわれる。

やがて、天文元年（1532）に京都の山科本願寺が焼失したのちは、石山本願寺が本山となる。石山本願寺は、戦国時代末期になると戦国大名と並ぶ一大勢力ともなり、寺の周囲には、城郭に匹敵する堅固な石垣が巡らされ、織田信長と石山合戦という籠城戦を行ったほどの要塞となった。結果として石山本願寺は信長に敗れ炎上したが、敵から攻められにくく見晴らしがよい上町台地は、信長により「そもそも大阪はおおよそ日本一の境地なり」と評されたという。信長の跡を継いだ豊臣秀吉にも天下統一の拠点にふさわしいと見なされたようで、秀吉により石山本願寺跡に大坂城が築城され、城下町大坂が築かれた。

東横堀川、西横堀川、阿波堀川などが掘られ、海運・水運の拠点として整備が進み、城下に配下の大名の屋敷や日本各地から商人を移住させ、木綿、油、薬種、金属加工業などの産業の集中が図られた。さらに、海外交易にも力を入れ、商人達の中には東南アジアへ向かう者も

いた。しかし、こうした繁栄を見せた大坂も慶長19年（1614）、慶長20年（1615）の大坂冬の陣、夏の陣で焼け野原となったのである。

大坂が経済都市として発達し「天下の台所」として全国的に名をとどろかせたのは、江戸時代の復興以降のことである。江戸幕府は大坂を直轄地（天領）とし、大坂城の再建をする一方で河川の改修や堀の開削を行った。諸藩も大坂に蔵屋敷を置き、年貢米が続々と運び込まれていった。年貢米の搬送は水路によって行われたため、大坂にはいたるところに水路や橋が巡らされ、八百八橋という名称も生まれた。

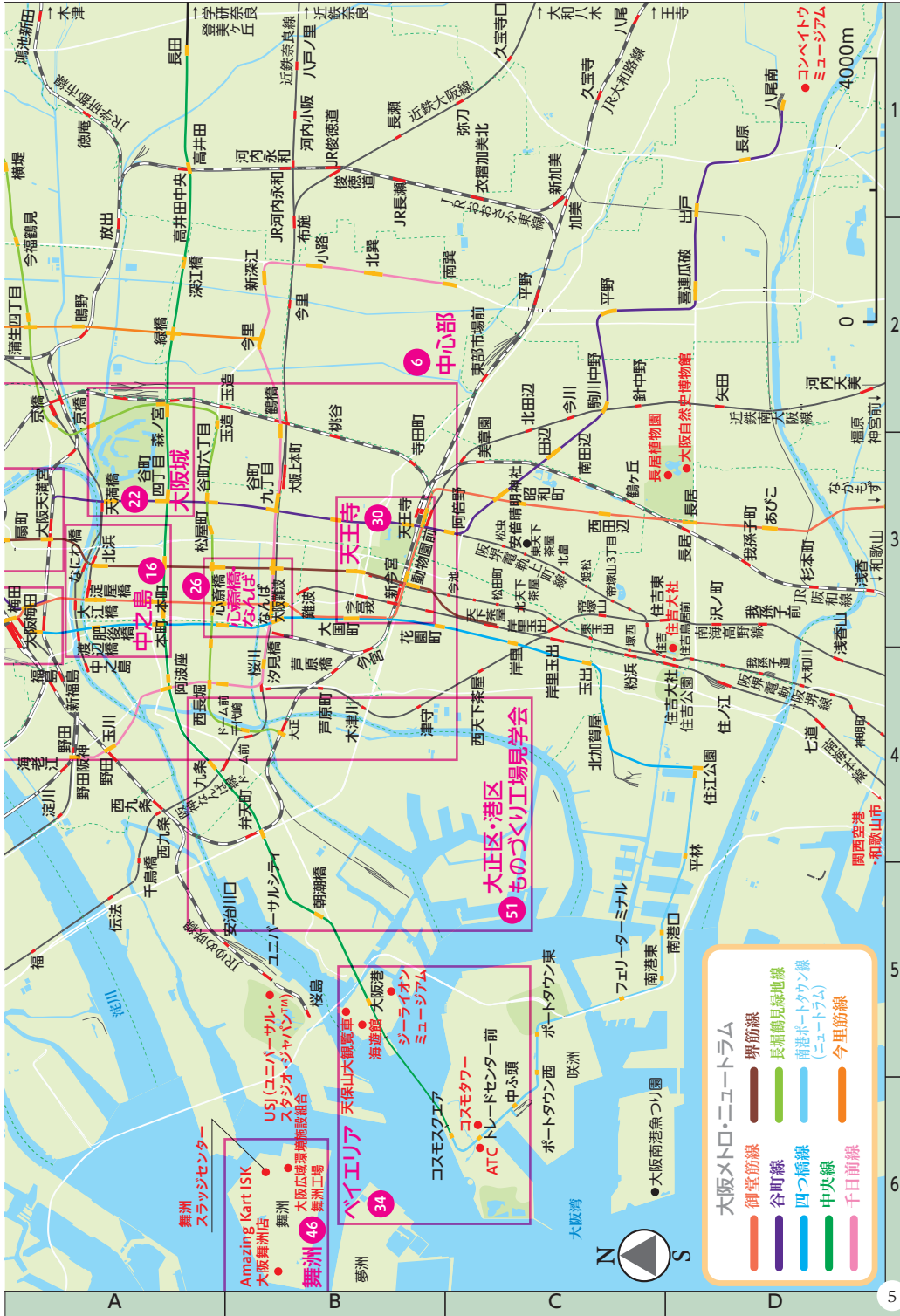
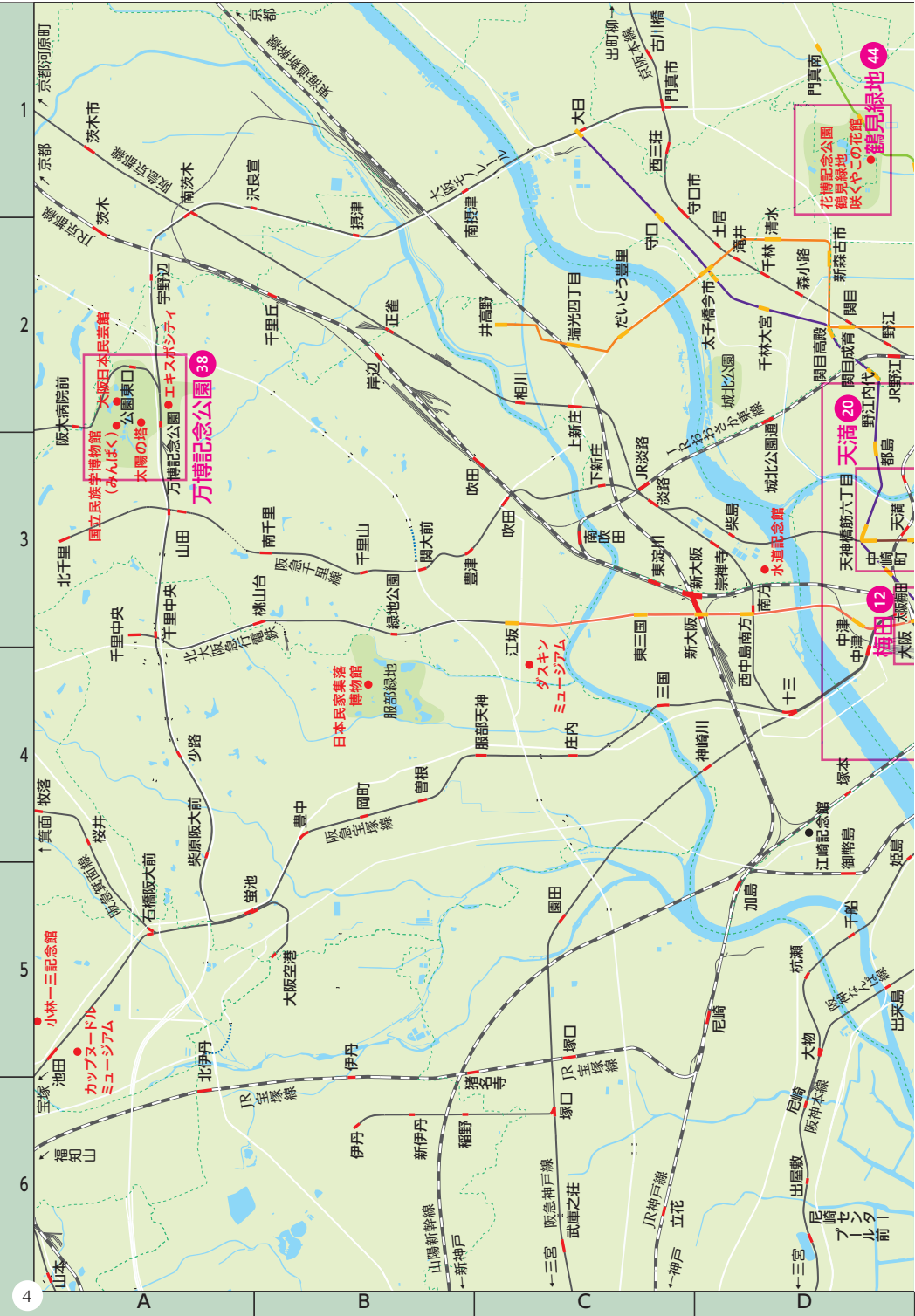
全国からの物資が集まり出荷されていく流通拠点となった大坂は、国際貿易にも結び付いた国内最大の経済都市として栄えていった。なかでも、米は大坂堂島にあった堂島米市場の米相場が全国相場の基準とされていたほどである。商いの隆盛とともに、それを支える町人文化も発展し、竹本義太夫と近松門左衛門とのコンビによる人形浄瑠璃や井原西鶴の『好色一代男』、上田秋成の『雨月物語』といった文芸文化も開花していき、現在では当時の文化をさして元禄文化と呼んでいる。

学術・教育の面でも大坂の存在は大きく、特に享保9年（1724）に開学した「懷徳堂」と天保9年（1838）に開学した「適塾」は極めて名が高く、また果たした役割も大きい。懷徳堂からは富永仲其や山片蟠桃、適塾からは橋本左内や福沢諭吉、大鳥圭介などと幕末・明治維新を駆け抜けた逸材たちが輩出されている。とくに、緒方洪庵がその住まいに開設した適塾は、蘭学・医学の学問所として発展し、現在の大阪大学の源流の一つとなっている。様々な物資とともに人が集まり、大坂には文芸、文学、教育、学術の花が咲いた。これらの文化は、今も大阪の町に息づいている。

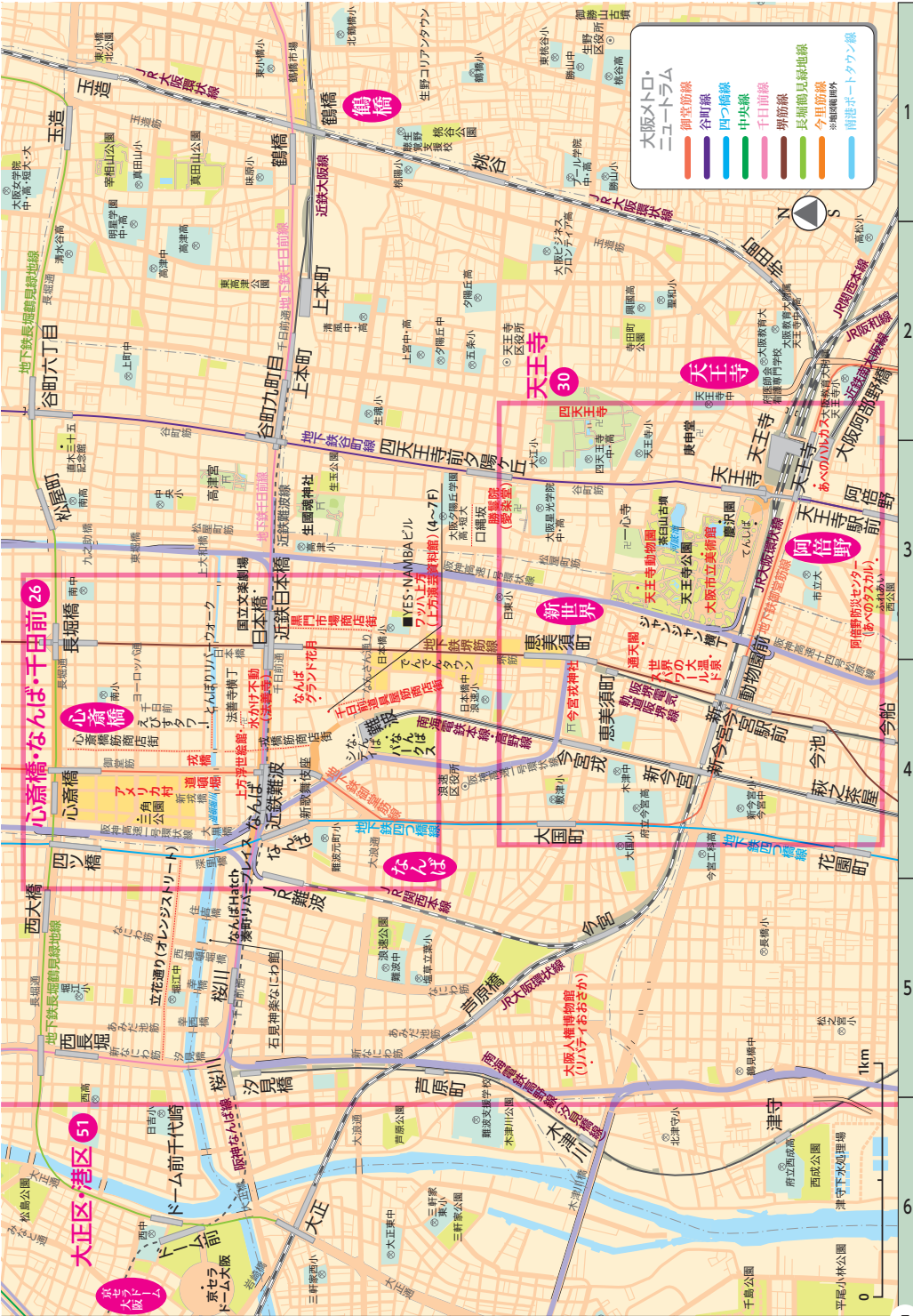
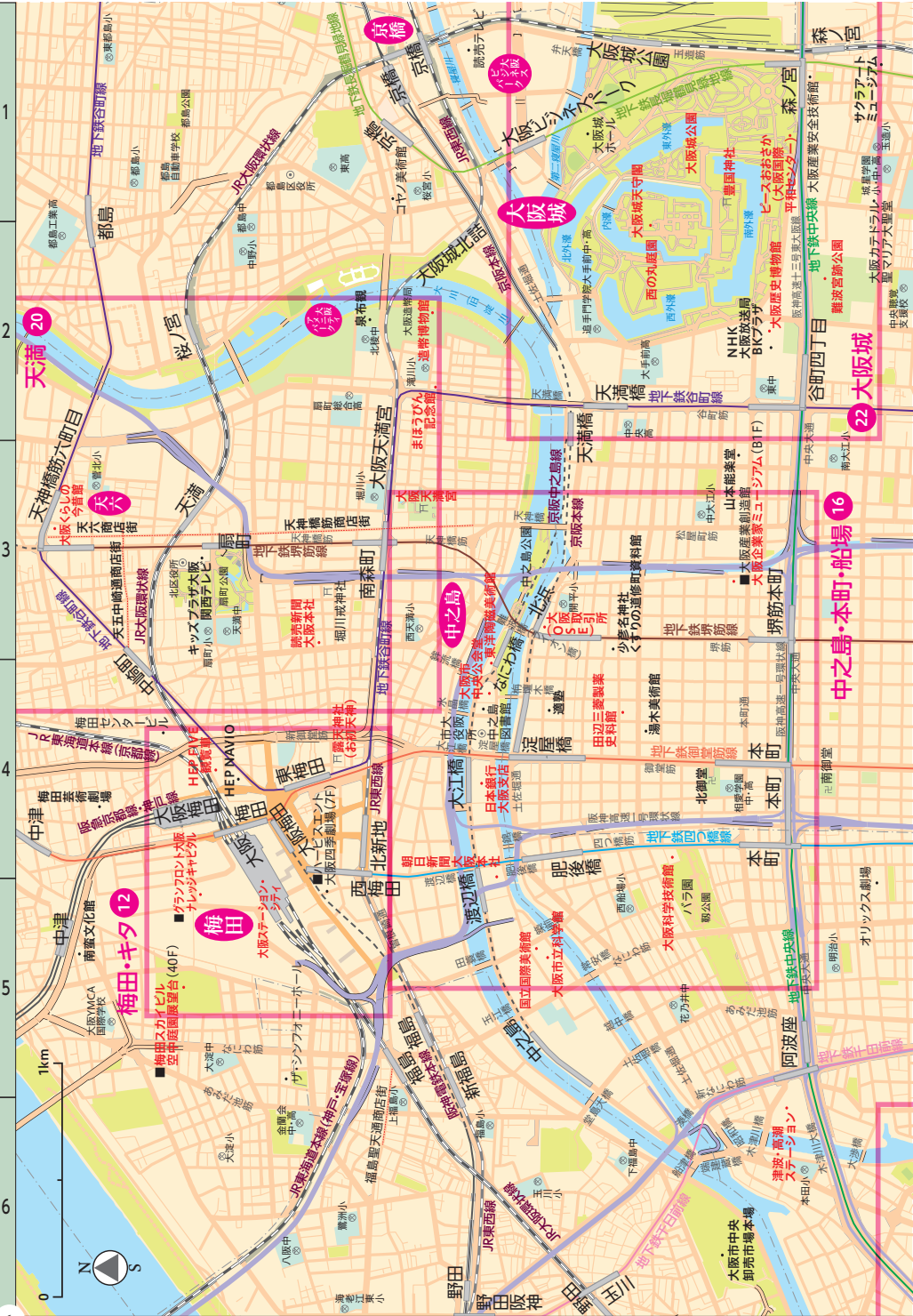
明治維新後の明治元年（1868）に、新政府はもとの大坂に大阪府を置いた。もともとは大坂と書かれていた「おおさか」が、大阪と書くことを正式とするようになったのは、この頃である。造幣局をはじめとするさまざまな近代工場が設立され、商業都市大阪は、いつの間にか「東洋のマンチェスター」とも呼ばれる大工業都市となっていった。第二次世界大戦では壊滅的な被害を受けたが、いち早く復興を遂げ、昭和45年（1970）には万国博覧会を開催するまでになった。現在では、日本有数の大都会、個性的な文化の発信地、古くからの歴史ある文化都市といった複数の顔をあわせ持つ、エネルギーな町として発展を続けている。

現在の大坂は吉本興業でお笑いの町として知られ、「大阪城」、「造幣博物館」などの歴史スポットのみならず、此花区の人気のテーマパーク「USJ」、梅田のファッションから雑貨、カフェ、レストランなどの「グランフロント大阪」や、天王寺の地上から300mの日本一高いビル「あべのハルカス」、吹田市の「エキスポシティ」など大都市ならではの大型施設も注目を集めており、来る2025年には夢洲にて「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに55年ぶりに大阪で万博が開かれる予定となっている。

大阪広域図



大阪市中心部図



エリア移動早見表

●○は乗る駅名
●○は降りる駅名

(○分はおよその乗車時間です。乗換・移動時間などは含まれておりません。)

目的地 出発地		目的地			
		梅田・キタ (P12)	中之島・本町・船場 (P16)	天満 (P20)	大阪城 (P22)
出 発 地	梅田・キタ (P12)		●御堂筋線 梅田(天王寺方面行)→ 淀屋橋(3分) 本町(5分) ●四つ橋線 西梅田(住之江公園行)→ 肥後橋(1分) 本町(3分)	●谷町線 東梅田(大日行)→ 天神橋筋六丁目(3分) ●谷町線 東梅田(八尾南行)→ 南森町(2分) ●JR環状線 大阪(外回り普通)→ 天満(2分)	●JR環状線 大阪(外回り)→ 大阪城公園(10分) 森ノ宮(11分) ●谷町線 東梅田(八尾南行)→ 天神橋筋六丁目(4~5分) 谷町四丁目(6~7分)
	中之島 本町 船場 (P16)	●四つ橋線 肥後橋(西梅田行)→ 西梅田(3分) ●御堂筋線 淀屋橋(新大阪方面行)→ 梅田(3分)		●堺筋線 堺筋本町(天神橋筋六丁目行)→ 南森町(3分) 天神橋筋六丁目(6~7分)	●中央線 本町(生駒方面行)→ 谷町四丁目(3分) 森ノ宮(5分)
	天満 (P20)	●谷町線 天神橋筋六丁目(八尾南行)→ 東梅田(3分) ●谷町線 南森町(大日行)→ 東梅田(2分) ●JR環状線 天満(内回り)→ 大阪(2分)	●堺筋線 天神橋筋六丁目(天下茶屋行)→ 堺筋本町(7分)		●JR環状線 天満(外回り)→ 大阪城公園(7分) 森ノ宮 ●谷町線 南森町(八尾南行)→ 谷町四丁目(4分)
	大阪城 (P22)	●JR環状線 森ノ宮(内回り)→ 大阪(10分) ●谷町線 谷町四丁目(大日行)→ 東梅田(7分)	●中央線 谷町四丁目(コスモスクエア行)→ 本町(4分)	●谷町線 谷町四丁目(大日行)→ 南森町(4分) 天神橋筋六丁目(11分) ●JR環状線 森ノ宮(内回り)→ 天満(7分)	
	心斎橋 なんば 千日前 (P26)	●御堂筋線 なんば(新大阪方面行)→ 梅田(9分) ●堺筋線 日本橋(天神橋筋六丁目行)→ 南森町 谷町線(大日行)→ 東梅田(8分)	●御堂筋線 なんば(新大阪方面行)→ 本町(4分) ●四つ橋線 なんば(西梅田行)→ 肥後橋(5分) ●堺筋線 日本橋(天神橋筋六丁目行)→ 堺筋本町(2分)	●堺筋線 日本橋(天神橋筋六丁目行)→ 南森町(6分) 天神橋筋六丁目(10分) ●中央線(生駒方面行)→ 谷町四丁目(3分)	●長堀鶴見緑地線 心斎橋(門真南行)→ 森ノ宮(9分) ●堺筋線 日本橋(天神橋筋六丁目行)→ 堺筋本町 中央線(生駒方面行)→ 谷町四丁目(3分)
	天王寺 (P30)	●御堂筋線 動物園前(新大阪方面行)→ 梅田(13分) ●谷町線 天王寺(大日行)→ 東梅田(14分) ●JR環状線 天王寺(大和路快速)→ 大阪(15分)	●御堂筋線 動物園前(新大阪方面行)→ 本町(8分) ●堺筋線 動物園前(天神橋筋六丁目行)→ 堺筋本町(6分)	●谷町線 天王寺(大日行)→ 南森町(12分) 天神橋筋六丁目(18分) ●堺筋線 動物園前(天神橋筋六丁目行)→ 南森町(10分) 天神橋筋六丁目(13分)	●谷町線 天王寺(大日行)→ 谷町四丁目(7分) ●JR環状線 天王寺(内回り)→ 森ノ宮(9分)
	ベイエリア (P34)	●中央線 大阪港(生駒方面行)→ 本町 御堂筋線(新大阪方面行)→ 梅田(16分) ●中央線 大阪港(生駒方面行)→ 弁天町 環状線(外回り快速)→ 大阪(13分)	●中央線 大阪港(生駒方面行)→ 本町(11分)	●中央線 大阪港(生駒方面行)→ 堺筋本町 堺筋線(天神橋筋六丁目行)→ 南森町(15分)	●中央線 大阪港(生駒方面行)→ 谷町四丁目(14分) 森ノ宮(17分)
	鶴見緑地 (P44)	●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 谷町六丁目 中央線(大日行)→ 東梅田(26分) ●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 京橋 環状線(内回り)→ 大阪(16分)	●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 森ノ宮 中央線(コスモスクエア行)→ 堺筋本町(17分) 本町(19分)	●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 京橋 環状線(内回り)→ 天満(13分) ●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 京橋 環状線(内回り)→ 大阪天満宮(13分)	●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 森ノ宮(13分)

その他(出発は梅田・キタエリア)	万博記念公園(P38)	●阪急京都本線 大阪梅田(京都河原町行準急)→ 南茨木 大阪モノレール(大阪空港行)→ 万博記念公園(22分)
	ダスキンミュージアム(P43)	●御堂筋線 梅田(千里中央行)→ 江坂(11分)
	日本民家集落博物館(P43)	●御堂筋線 梅田(千里中央行)→ 緑地公園(14分)
	池田(P42)	●阪急宝塚本線 大阪梅田(宝塚行・急行)→ 池田(18分)
	舞洲スラッジセンター(P47)	●JR西九条駅から大阪シティバス 西バス停「西九条」2番のりば(81系統・舞洲スポーツアイランド行)→ アミティ舞洲
	Amazing Kart ISK 大阪舞洲店(P46)	●JR西九条駅から大阪シティバス 西バス停「西九条」2番のりば(81系統・舞洲スポーツアイランド行)→ 舞洲スポーツアイランド
	USJ(ユニバーサルスタジオジャパン)	●JRゆめ咲線 西九条(桜島行)→ ユニバーサルシティ(5分)
	住吉大社(P48)	●南海線 新今宮(和歌山市行)→ 住吉大社(7分)

目的地			
心斎橋・なんば・千日前 (P26)	天王寺 (P30)	ベイエリア (P34)	鶴見緑地 (P44)
●御堂筋線 梅田(天王寺方面行)→ 心斎橋(7分) なんば(9分) ●四つ橋線 西梅田(住之江公園行)→ なんば(7分)	●御堂筋線 梅田(天王寺方面行)→ 動物園前(13分) 天王寺(15分) ●谷町線 東梅田(八尾南行)→ 天王寺(14分) ●JR環状線 大阪(内回り普通)→ 天王寺(19分)	●御堂筋線 梅田(天王寺方面行)→ 本町 中央線(コスモスクエア行)→ 大阪港(15分) ●JR環状線 大阪(内回り快速)→ 弁天町 中央線(コスモスクエア行)→ 大阪港(11分)	●JR環状線 大阪(外回り)→ 京橋 長堀鶴見緑地線(門真南行)→ 鶴見緑地(16分)
●御堂筋線 淀屋橋(天王寺方面行)→ 心斎橋(4分) なんば(6分) ●四つ橋線 肥後橋(住之江公園行)→ なんば(5分) ●堺筋線 堺筋本町(天下茶屋行)→ 日本橋(3分)	●御堂筋線 淀屋橋(天王寺方面行)→ 動物園前(10分) ●堺筋線 堺筋本町(天下茶屋行)→ 恵美須町(5分) 動物園前(7分)	●中央線 本町(コスモスクエア行)→ 大阪港(10分)	●中央線 本町(生駒方面行)→ 森ノ宮 長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(門真南行)(18分)
●堺筋線 天神橋筋六丁目(天下茶屋行)→ 日本橋(10分) ※日本橋から千日前線1駅でなんば(1分)	●堺筋線 天神橋筋六丁目(天下茶屋行)→ 動物園前(14分) ●谷町線 南森町(八尾南行)→ 天王寺(11分)	●堺筋線 天神橋筋六丁目(天下茶屋行)→ 堺筋本町 中央線(コスモスクエア行)→ 大阪港(19分)	●JR環状線 天満(外回り)→ 京橋 長堀鶴見緑地線(門真南行)→ 鶴見緑地(13分)
●中央線 森ノ宮(コスモスクエア行)→ 本町 御堂筋線(天王寺方面行)→ なんば(9分) ●中央線 谷町四丁目(コスモスクエア行)→ 堺筋本町 堺筋線(天下茶屋行)→ 日本橋(4分)	●谷町線 谷町四丁目(八尾南行)→ 天王寺(7分) ●JR環状線 森ノ宮(外回り)→ 天王寺(9分)	●中央線 森ノ宮(コスモスクエア行)→ 大阪港(15分)	●長堀鶴見緑地線 森ノ宮(門真南行)→ 鶴見緑地(13分)
	●御堂筋線 難波(天王寺方面行)→ 動物園前(4分) 天王寺(6分) ●堺筋線 日本橋(天神橋筋六丁目行)→ 堺筋本町 中央線(コスモスクエア行)→ 恵比寿町(2分)	●御堂筋線 なんば(新大阪方面行)→ 本町 中央線(コスモスクエア行)→ 大阪港(14分) ●堺筋線 日本橋(天神橋筋六丁目行)→ 堺筋本町 中央線(コスモスクエア行)→ 大阪港(14分)	●長堀鶴見緑地線 心斎橋(門真南行)→ 鶴見緑地(22分)
●御堂筋線 天王寺(新大阪方面行)→ なんば(6分) ●堺筋線 恵美須町(天神橋筋六丁目行)→ 日本橋(1分)		●JR環状線 天王寺(大和路快速)→ 弁天町 中央線(コスモスクエア行)→ 大阪港(12分) ●堺筋線 動物園前(天神橋筋六丁目行)→ 堺筋本町 中央線(コスモスクエア行)→ 大阪港(18分)	●堺筋線 動物園前(天神橋筋六丁目行)→ 長堀橋 長堀鶴見緑地線(門真南行)→ 鶴見緑地(25分) ●谷町線 天王寺(大日行)→ 谷町六丁目 長堀鶴見緑地線(門真南行)→ 鶴見緑地(22分)
●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 心斎橋 御堂筋線(天王寺方面行)→ なんば(24分) ●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 長堀橋 堺筋線(天下茶屋行)→ 日本橋(21分)	●中央線 大阪港(生駒方面行)→ 弁天町 環状線(内回り)→ 天王寺(15分) ●中央線 大阪港(生駒方面行)→ 堺筋本町 堺筋線(天下茶屋行)→ 恵美須町(17分)	※トレードセンター前にはコスモスクエアで南港ポートタウン線(ニュートラム)に乗り換えて1駅(2分)	●中央線 大阪港(生駒方面行)→ 森ノ宮 長堀鶴見緑地線(門真南行)→ 鶴見緑地(30分)
	●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 谷町六丁目 中央線(八尾南行)→ 天王寺(22分) ●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 長堀橋 堺筋線(天下茶屋行)→ 恵美須町(23分)	●長堀鶴見緑地線 鶴見緑地(大正行)→ 森ノ宮 中央線(コスモスクエア行)→ 大阪港(28分)	

その他	長居(P48)	●JR阪和線 天王寺(鳳行・普通)→ 長居(9分)
	コンベイトムミュージアム(P49)	●谷町線 天王寺(八尾南行)→ 八尾南(21分)
	関西国際空港(P49)	●JR環状線 大阪(関西空港行・快速)→ 関西空港(66分)
	人と防災未来センター(P60)	●阪神本線 大阪梅田(東須磨方面・特急)→ 御影 阪神本線(高速神戸方面・普通)→ 春日野道(35分) ●JR神戸線 大阪(姫路方面・新快速)→ 芦屋 阪神神戸線(須磨方面・普通)→ 灘(27分)
	南京町(P61)	●JR神戸線 大阪(姫路方面・新快速)→ 三ノ宮 阪神神戸線(西明石方面・普通又は快速)→ 元町(27分)
	JR京都駅	●JR京都線 大阪(京都方面・新快速)→ 京都(29分)
	京都河原町駅(阪急電車)	●阪急京都線 大阪梅田(京都河原町行・特急)→ 京都河原町(44分)

大阪の玄関である梅田・キタは私鉄・地下鉄・バスが集中するターミナル・シティである。オフィスビル・飲食店・デパート・ホテルなどが立ち並び、地下にもぐれば迷宮とも称される人工の街「梅田地下街」が四方八方に延びている。梅田という地名は江戸時代に泥田を埋めた場所であったから「埋田」と書いたが、それでは味気ないので「梅田」という洒落た漢字が当てられたとされている。平成23年(2011)にJR大阪駅に大阪ステーションシティが開業し、「LUCUA 1100(ルクア イーレ)」などファッションビルには平日でも多くの買物客で賑わっている。道頓堀付近のミナミに対してキタとも呼ばれている。



ちょっと知識

JR以外の駅名は阪神・阪急・地下鉄と「梅田」を使っている。これは明治7年(1874)に大阪駅が造られた際、それまで民間会社が大阪・神戸間の鉄道を計画していたが、明治政府はそれを許可をせず、政府主導の国鉄大阪駅が誕生させたため、その反発から「大阪駅」という名前を拒否し親しまれている「梅田駅」を採用したとされている。※2019年10月より阪急・阪神は外国人観光客のために「大阪梅田駅」に改称している。



JR 大阪駅

大阪ステーションシティ (JR大阪駅)

地図 P12B2 P63 参照

大阪駅北側地区の再開発事業として工事が進められてきたJR大阪駅は、平成23年(2011)5月4日、大阪ステーションシティとしてリニューアルオープンした。

駅の北側には、ルクア1100、LUCUAの入った「ノースゲートビルディング」が建つ。10~14階には、憩いの休息場として風の広場、天空の農園などがあり、梅田スカイビルなどを見渡せる展望がすばらしい。駅南側には大丸やホテルグランヴィア、レストランなどが入った「サウスゲートビルディング」が建つ。大阪駅の新しい玄関口となる1階南ゲート広場壁面には水の糸が時を刻む「水時計」があり、中へ進んだ旅立ちの広場では明治7年(1874)の大阪駅の開業時に発車合図に使用された「時鐘」が楽しめる。

南北のビルと駅ホームをつなぐ橋上駅屋上の広場は、鉄道の象徴「時」を刻む金時計・銀時計が設置された時空(とき)の広場となっており、近未来的な建築の駅舎全体を見渡することができる。



大阪ステーションシティ 時空(とき)の広場

グランフロント大阪

地図 P12B1 P64 参照

かつて大阪駅北側にあった梅田貨物駅。この再開発が近年行われており、総面積約24haという広大な跡地が、大阪最後の一等地「うめきた」である。再開発は1期・2期に分かれていて、グランフロント大阪は1期部分7haに立つ複合商業施設である。南館(タワーA)、北館(タワーB・タワーC)に分かれていて、ショッピングモールやレストラン・カフェ、オフィス、ホテル、コンベンション・センター、劇場、超高層マンションから構成される。

また、グランフロント大阪各所を結ぶ道は、ただの通路ではなく、人の交流や賑わいを創造する広場や歩道空間として整備されている。特に南館のそば、大阪駅北口正面に広がる「うめきた広場」は、そこに面した多目的ホールうめきたSHIPホールとともに文化の発信拠点としても注目だ。

「うめきた」には2期17haがまだ控え、将来的な構想として、地下鉄延伸に伴う新駅開業なども予定されている。



梅田スカイビル空中展望台
地図 P12A1 P62 参照

大阪が誇るランドマーク「梅田スカイビル」の屋上にある空中庭園展望台。完全屋上開放型の展望台でシースルー式のエレベーターとエスカレーターを乗り継いで行く地上173m・視界360度の大パノラマ。風に吹かれながら大阪の街を一望できる絶景スポットである。その眺めは日本の夕陽100選に選ばれたこともある。カフェがあるので、絶景を眺めながら、美味しいケーキやソフトクリーム、梅田スカイビルを象った焼きたてのワッフルなどを食べながら休憩することもできる。また、ここにはショップもあり、お土産のお菓子はもちろんのこと梅田スカイビルや空中庭園展望台をコンセプトにしたオリジナルグッズ、カップルの名前を刻印してくれるハートのストラップなども販売されている。



HEP FIVE 観覧車
地図 P12C1 P66 参照

大阪・梅田の中心に位置しショップ、レストラン、アミューズメントパークなどが集まる商業施設。"HEP" は Hankyu Entertainment Park (阪急エンターテインメント・パーク) の頭文字からとった名称である。直径 75 m、最上部の高さ約 106 m、ビルの上に見える真っ赤な姿の観覧車は、HEP FIVE の目印以上に、梅田のシンボルになっている。

ビルの 7 階から搭乗し、ゴンドラは屋上を抜けて地上 106m まで上昇。

大阪の中心部はもちろん、天気の良い日は南に大阪城や通天閣、西に大阪湾や明石海峡大橋など関西の名所を一望することができる。

52 台ある 4 人乗りのゴンドラの車内は、冷暖房も完備。快適に 1 周約 15 分の空中散歩を楽しめる。また、夜に搭乗すると昼間の景観とは違ったロマンチックな大阪の夜景を見ることが出来る。



アクティブラボ

ナレッジキャピタル (グランフロント大阪内)

地図 P12B1 P66 参照

グランフロント大阪の中核施設「ナレッジキャピタル」は、人と人、人とモノ、人と情報の交流により、今までにない商品やサービスなど「新たな価値」を創出すること目的とした複合施設。施設には大小のオフィス、サロン、ラボ、ショールーム、シアターなどが揃っており、展示やワークショップ、セミナーなどのイベントがほぼ毎日開催されている。B1F～3F を占める「The Lab. みんなで世界一研究所」は、子供から大人までが驚きの先端技術に触れて、体験して、語り合うことができる交流施設になっている。企業や大学などが製品化する前のアイデアや試作品に触れたり、体験することができ、感性を磨く場所として活用できる。また、他にも近未来を提案する「フューチャーライフショールーム」などの見学体験施設が充実しており、土日祝には施設内をコミュニケーターが解説してくれるナレッジキャピタルツアーも行われている。

ついでにじんしゃ 露天神社 (お初天神)

地図 P12C3 P65 参照

御祭神は 少彦名大神や菅原道真公等。縁結び、商売繁盛、交通安全の社としても有名。創建は1300年以上 遡るといわれ、社名の由来には諸説がある。道真が左遷で太宰府へ向かう途中、ここで都を偲びながら涙したことになむ

とも、梅雨のころ社前の井戸から水がわき出たためともいわれている。

元禄16年 (1703) 4月7日に境内で実際にあった心中事件を題材として、近松門左衛門が人形浄瑠璃『首根崎心中』を書き、そのヒロインであるお初の名前を取り「お初天神」とも呼ばれるようになった。

この話が好評になり大勢の参拝者が訪れたという。現在も、恋の成就を願う多くの人々が訪れている。毎月第1・第3金曜日には、「お初天神蚤の市」が開かれ、特色ある古物商約30～40店が軒を並べる。



天神祭

- ◆1月9日～11日 … 十日戎 今宮戎神社 (30A1)
- ◆1月14日 …… どやどや 四天王寺 (30C1)
- ◆2月～3月上旬 …… 大阪城公園梅林見ごろ 大阪城公園梅園 (22B2)
- ◆3月上旬～中旬 …… 大相撲春場所 エディオンアリーナ大阪 (26A4)
- ◆3月下旬～4月中旬 桜まつり 万博記念公園 (4A2)
- ◆4月上旬 …… 花まつり 北御堂 (16C3)
- ◆4月中旬の一週間 …… 造幣局の桜の通り抜け 造幣局 (20C3)
- ◆4月22日 …… 聖霊会 四天王寺 (30C1)
- ◆5月中旬～下旬 パラ園見頃 中之島公園 (16上部)
- ◆5月下旬～6月中旬 …… 城北菖蒲園開園 城北公園 (4D2)
- ◆6月30日～7月2日 …… 愛染祭 勝鬘院 (愛染堂) (30C1)
- ◆7月11日・12日 …… いくたま夏祭り 生國魂神社 (7B3)
- ◆7月24日・25日 …… 天神祭 大阪天満宮及び大川周辺 (20B3)



万灯供養

- ◆海の日 (7月第3日曜)～8月1日 …… 住吉祭 住吉大社 (5D3)
- ◆8月9日～16日 …… 万灯供養 四天王寺 (30C1)
- ◆9月第1土曜・日曜 …… 彦八まつり 生國魂神社 (7B3)
- ◆中秋日 …… 観月祭 住吉大社 (5D3)
- ◆10月25日 …… 秋大祭 流鏝馬神事 大阪天満宮 (20B3)
- ◆11月頃 …… 御堂筋オータムパーティ (御堂筋ランウェイ・他) 御堂筋 (本町～心斎橋) (6D4～7A4、他)
- ◆11月22日・23日 …… 神農祭 少彦名神社 (16D3)
- ◆11月～翌年1月頃 …… 大阪・光の饗宴 (御堂筋イルミネーション・OSAKA 光のルネサンス・他) 御堂筋 (本町～難波) (6D4～7B4)、中之島 (16上部)、他



天神祭



城北菖蒲園



住吉祭



大阪城梅林



十日戎



中之島公園パラ園

大阪城



豊國神社

地図P22B2 P66 参照

豊國神社は「豊臣秀吉」に奉祀する神社で、出世開運祈願の神として知られている。

明治12年(1879)、京都市にある豊國神社の別社として創建された。もともとは中之島の大阪市中央公会堂の辺りにあったが、2度移転して現在地へ遷座している。境内には昭和47年(1972)につくられた「秀石庭」がある。

海に面した大阪の発展にちなみ、海洋をテーマとした庭園で、秀吉の馬印であった千成瓢箪の形を地割模様とし、巨石を組み合わせて「石山」を表現している。

わずか一代で無名の足軽から天下を取った秀吉にあやかり、豊國神社のお守りの千成瓢箪をひとつずつ買い増して、出世開運を願う人も多いそうだ。

毎年秀吉の命日8月18日には御神霊を慰める為のお祭りが行われている。

ちょっと知識

大阪城の南にある複合施設「ミライザ大阪城」の建物は、第四師団司令部(陸軍関連施設)として昭和6年(1931)に建てられたものであり、戦後には大阪府警本部や大阪市立博物館など、用途を変えて使われている。

梅田P12
中之島P16
心斎橋P26

大阪城公園は大阪城周辺から環状線にかけて広がる総面積105.6ha(東京ドーム約23個分)の広大な公園。園内には大阪城のほか、最大16,000人を収容できる大阪城ホールや大阪城音楽堂、野球場、弓道場、修道館(柔道などの施設)があり、文化・音楽・スポーツを楽しめる市民の憩いの場となっている。



大阪城(大阪城公園の注目スポットはP24へ)

地図P22B2 P63 参照

石山本願寺の跡地に、天正11年(1583)豊臣秀吉が築城を開始したのが大坂城である。慶長20年(1615)大坂夏の陣の時に廃墟同然となったが、徳川幕府の2代将軍徳川秀忠により再築された。その後、落雷で天守閣を焼失。現在の天守閣は3代目で、昭和6年(1931)の復興と平成9年(1997)の改修によるものである。内部は歴史資料館になっており、歴史



資料や、ジオラマ、ビデオなどで様々な角度から大阪城を楽しむことができる。その中でも、天下統一をした秀吉の生涯や、映像とミニチュア模型を使った大坂夏の陣の戦いは見応えがある。最上階は、地上から50mの展望台になっており、周辺の大阪城公園だけでなく、大阪の街を一望できて爽快だ。

現在大阪城天守閣では、見学の他に復元した戦国武将の兜を、陣羽織と共に試着し、写真撮影ができるコーナーが設けられており、女性用の小袖も用意されている。ミュージアムショップでは食品・雑貨・キーホルダー・大阪伝統工芸品・インテリア・Tシャツ・書籍、その他にもここでしか手に入らないものも販売されている。

大阪歴史博物館

地図P22A3 P63 参照

1350年余り以前の宮殿難波長柄豊崎宮跡の上に、大阪市立博物館の新館として、平成13年(2001)に建てられた歴史博物館で、「なにわ歴史博」という愛称で親しまれている。館内は、地下に難波長柄豊崎宮の遺構、2階に歴史に関する情報を集めた学習情報センター「なにわ歴史塾」、6階には特別展示室があり、7~10階にかけてはグラフィックや映像、情報端末などで大阪を4つの時代・角度から紹介する常設展示室となっている。10階は古代、9階は中世近世、8階は考古学、7階は近現代と、階とともに時代が下っていく展示となっていて、大阪の歴史を学ぶことができる。

とくに、10階の展示会では、直径70cmもある朱塗りの円柱が立ち並ぶ奈良時代の難波宮の大極殿を原寸大に復元しているのが、なかなかの見応えだ。

展示に関わる内容を体験しながら学べる「ハンズオン」は、日によって異なる。

難波宮跡公園

地図P22B3 P66 参照

飛鳥時代から奈良時代にかけて、大阪に都・難波宮があったことを示す史跡である。『日本書紀』や『続日本紀』にでてくる難波宮であるが、所在地が分かったのは最近のことであり、大阪市立大学教授の山根徳太郎博士により調査が行われ、前期・後期難波宮が発見された。

前期難波宮は、孝徳天皇による難波遷都によるもので、宮殿は白雉3年(652)に完成したとされ、大化の改新の重要な舞台と言えるだろう。後期難波宮は、神亀3年(726)聖武天皇が平城京の副都として造営させたものである。

一帯は史跡公園として整備されていて、宮殿の中心部とされる約9万㎡が国の史跡に指定されている。前期難波宮の部分は、赤いタイルが敷かれ、赤い御影石で柱位置が示され、後期難波宮の部分は、地表面より一段高くして、石造りで基壇が示されている。また、大阪歴史博物館の地下には前期難波宮の倉庫群の遺構が保存され、一般公開されている。



大阪大空襲の様子を再現したマップニング映像



刻の庭

ピースおおさか(大阪国際平和センター)

地図P22C3 P66 参照

大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアムとして平成27年(2015)にリニューアルオープン。館内には「昭和20年、大阪は焼き尽くされた」「世界中が戦争をしていた時代」「戦時下の大阪の暮らし」「多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪」「たくましく生きる大阪」「私たちの未来をつつていくために」をテーマとした常設展示があり、50回以上にも及んだ大阪空襲の実態や戦時下の生活を中心に展示し、犠牲者の追悼、平和への祈念を訴えかけている。

また、特別展示室では、府民・市民より寄贈された数多くの資料を活用した収蔵品展など、関係機関・団体の協力も得ながら特別展を開催している。

このほか、平和学習として、アニメ、映画の定時上映、戦争体験語り部の紹介、ボランティアの協力による平和紙芝居、戦跡ウォーク、教員向けの平和学習講座などを行っている。



大阪城公園注目スポット



いぬいやくら
乾 櫓 重文

西の丸の西北（戌亥）隅を守る隅櫓で、大手口と京橋口の広い範囲が見渡せる要所にある。平面L字型、総二階造り（一階と二階の床面積が同じ、普通は上が狭くなる）の珍しい形をしており、南・西・北に開けていることから「三方正面の櫓」の別名がある。
創建は元和6年（1620）、千貫櫓とともに大阪城最古の建造物の一つであり、工事責任者も同じ小堀遠州である。昭和34年（1959）解体修理。乾櫓の内側である西の丸庭園からは、L字型がはっきり分かる。

西の丸庭園

天守閣の西にある広さ約6.5haの庭園で、約半分が芝生におおわれている。園内には迎賓館や焰硝蔵があり、千貫櫓と乾櫓を内側から見るができる。
西の丸は本丸に次ぐ重要な場所とされ、豊臣秀吉の時代には弟・秀長の屋敷があり、秀吉正室・北政所が住んだこともある。桜の名所として知られ、ソメイヨシノを中心に約300本の桜が植えられ、毎年春には、お花見を楽しむ人々にぎわう。



せんがんやくら
千貫 櫓 重文

大手門の左側、堀に突き出す形になっている二層の隅櫓で、門に向かう敵を側面から攻撃するのに最適な配置である。名前の由来は大坂城の前身石山本願寺にさかのぼるとされ、これを攻めた織田信長軍の兵士たちが「千貫文を出しても奪いたい」と言ったことに因むという。初期の具体的な場所は不明ながら、その名前は豊臣大坂城、徳川大坂城と引き継がれてきた。
工事は茶人でもある小堀遠州の手によるもので、大阪城最古の建物の一つ。元和6年（1620）創建、昭和36年（1961）解体修理されている。

多間 櫓 重文

大手門を抜けると四方が石垣に囲まれた空間になっており、先に進むには左に折れて大門を潜らなければならない。石垣の上にはL字型に多間櫓が乗っていて、大手門正面の続櫓、左側の大門をまたぐ渡櫓で構成される。「槍落とし」や「銃眼」などが配され、面積は710㎡、高さは14.7mである。多間とは松永久秀の居城「多間城」の建物に由来しており、土塁や石垣上に築かれた長屋状の建物を一般に多間（多門）という。寛永5年（1628）創建され、落雷焼失のち嘉永元年（1848）再建、昭和44年（1969）解体修理されている。



おおいでもん
大手門 重文

城の正面を大手といい、そこにある門を大手門という。現在の大阪城大手門は、寛永5年（1628）に徳川幕府による大坂城再築工事の際に創建された。嘉永元年（1848）に修復、昭和42年（1967）に解体修理が施された。特に正面右側の控柱の継手は見もの。複雑な継ぎは、どうはめ込めばいいのか分からない。本柱2本と控え柱2本の上にそれぞれ屋根が架かる高麗門形式であり、屋根は本瓦葺、扉や親柱は黒塗総鉄板張である。開口部の幅は5.5m、高さ7.1m。

六番 櫓 重文

南外堀に面する隅櫓で、寛永5年（1628）創建という徳川大坂城再築の末期にあたり、様式・手法などに初期の乾・千貫櫓とは違った特徴がみえる。窓は外側を中心に26か所、鉄砲や矢を放つための狭間も多数空けられている。南面と西側に石落としが1か所づつあり、石垣を登ろうとする敵への備えもみられる。



焰硝（黒色火薬）を納めた火薬庫である。焰硝の保管は難しかったようで、万治3年（1660）には落雷による大爆発が起きており、また別の場所にあった半地下の焰硝蔵は部材の腐食に悩まされたという。現在の焰硝蔵は貞享2年（1685）に創建されたもので、床・壁・天井・梁の全てが花崗岩の切石で出来ており、厚さは約2.4mで、きわめて頑丈なつくりになっている。こうした石造りの火薬庫は日本では他に例がない。昭和35年（1960）解体修理が行われている。

えんしょうくら
焰硝蔵 重文



きんすいずいあん
豊松庵

豊臣秀吉と茶道の大成者千利休の関係は深く、城内で茶の湯を楽しむなど、両者の逸話が多い。こうしたゆかりの地で茶道を楽しんでもらおうと松下電器（現パナソニック）の創業者・松下幸之助が寄贈した茶室である。大阪万博開催に際したもので、昭和44年（1969）3月起工、同年11月に完成。茶室から露地を通して望む天守閣は、都心とは思えないほどの静かな趣を感じさせる。
なお豊松庵の由来は、「豊」臣秀吉・「松」下幸之助だという。

金明水井戸屋形 重文

かつて本丸内にあった5つの井戸の一つで、天守閣にもっとも近い。元々は黄金水と呼ばれ、本来の金明水井戸は現在の配水池あたりにあったという。豊臣秀吉が水の毒気を抜くために黄金を沈めたとの伝説があったが、現在では徳川時代の天守と同じ寛永3年（1626）に創建されたことが分かっている。（井戸掘りは1624年）
天守は落雷により焼失してしまったが、屋根付き（屋形）の井戸であるこの建物は当時のまま残った。小天守台上にあって、水面までは約33mととても深い。



きんざう
金蔵 重文

徳川幕府の金貨・銀貨の保管庫である。長崎貿易の収益金や西日本にある幕府直轄領の年貢金などの公用金が蓄えられたとされ、石敷の床下や三重の入口、特殊な鍵など、厳重な防犯・防火対策がなされている。のちに陸軍の倉庫となり、窓が増やされ、出入口も付け替えられた。宝暦元年（1751）創建、天保8年（1837）改修とされる。第2次世界大戦の空襲により荒れ果てていたが、昭和35年（1960）解体修理されている。

桜 門 重文

内堀に囲まれた本丸への正門である。豊臣秀吉のころ、二の丸に桜の馬場があったことに因み桜門といわれるが、徳川幕府による再建により位置も方向も変更されている。創建は寛永3年（1626）であるが、戊辰戦争で焼失しており、明治20（1887）、陸軍の手で徳川時代の様式のままに復元された。昭和44年（1969）解体修理。



一番 櫓 重文

南外堀に面する、かつては7棟あった隅櫓の一つ。玉造口（大坂城東南の出入口）から一番、二番と番号が振られていたが、四番・五番・七番櫓は戊辰戦争で、二番・三番は第二次大戦の空襲で失われ、現在は一番櫓と六番櫓だけが残る。
寛永5年（1628）創建とされ、寛文8年（1668）大改造され現在の姿となる。何度か修復がされており、近年は昭和40年（1965）解体修理がされた。玉造口の守りであり、東面と南面、北面に窓が16個、鉄砲や矢を放つための狭間も設けられている。



その他のエリア



提供：大阪府

南アジア展示場



オセアニア展示場



東南アジア展示場



国立民族学博物館提供

万博記念公園

地図 P4A2・3 P66 参照

「日本万国博覧会（大阪万博）」の跡地を整備した公園で、総面積約260ha。園内には、国立民族博物館や各パビリオンを撤去した跡につくられた自然文化園、もともとパビリオンであった日本庭園や大阪日本民芸館、大阪万博の映像・写真などを展示するEXPO'70パビリオン、EXPOCITYなど、文化・スポーツ・レジャー・宿泊施設が集まっている。77か国が参加した大阪万博は、昭和45年（1970）に開催された。テーマは「人類の進歩と調和」。その

テーマ館の一部として建てられた「太陽の塔」が、自然文化園の中心に現在もそびえている。岡本太郎氏の作品で、約50年たった今も独特な存在感で圧倒される。塔を中心に西から東へ、森から里山、芝生の平野に続くようにデザインされていて、四季の変化やいくつもの水の流れなど、日本の風景が感じられる。

国立民族学博物館（万博記念公園内）

地図 P4A2・3 P64 参照

世界各地の人々のくらしや固有の文化、社会情勢などを紹介し、世界の諸民族についての認識と理解を深めることを目的として昭和52（1977）年に開館。本館展示は地域展示と通文化展示で構成されている。

地域展示では世界をオセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジア各地域に分け、オセアニアを出発して、東回りで日本にたどり着く構成をしている。世界でもっとも大きな貨幣といわれるヤップ島の石貨や、表面だけ各国で違うデザインをしているユーロ硬貨など、古いものから新しいものまで年代を問わない展示が面白い。

通文化展示では太鼓・ギターといった「音楽」、コミュニケーションに



不可欠な「言語」など、地域ではなく特定のジャンルから世界の民族文化を紹介する展示を行っている。そのほか、特別展や企画展、文化人類学や民族学に関連した研究公演や映画鑑賞会、ワークショップなどのイベントも開催している。学校団体向けに「みんぱくワークシート」があり、HPからダウンロード可能。

太陽の塔（万博記念公園内）

地図 P4A2・3 P65 参照

昭和45年（1970）に開催された日本万国博覧会のテーマの一部として、芸術家・岡本太郎によって制作された高さは約70mの造型物。外観は金色に輝き未来を象徴する「黄金の顔」、現在を象徴する正面の「太陽の顔」、過去を象徴する背面の「黒い太陽」。そして、人間の精神世界を象徴する「地底の太陽」という4つの顔持っており、過去・現在・未来を貫いて生成する万物のエネルギーの象徴として、一目見たら一生忘れられないような強烈な印象を与えてくれる。

大阪万博当時はテーマ館として内部が公開されていたが、大阪万博閉幕後の48年間にわたり、原則非公開とされてきた。しかし、平成30年（2018）に大規模な改修工事を終えて一般公開が再開された。

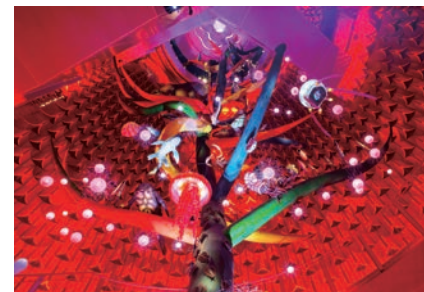
内部には生命の進化の過程を表している高さ約41メートルの「生命の樹」がそびえ立ち、樹にはアメーバなどの原生生物から魚類、恐竜、人類など183体の生物模型群が取り付けられており、鮮やかな色とユニークな姿で見学者を楽しませてくれる。その他、建設当時の写真などパネル展示もあり、太陽の塔についてさらに深く知ることができる。なお、見学は太陽の塔公式サイトより事前予約が可能でスタッフによる案内を受ける事ができる。

大阪日本民芸館（万博記念公園内）

地図 P4A2・3 P63 参照

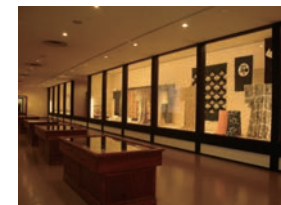
「民藝運動」の西の拠点として開館。もともとは、東京にある日本民藝館が、「暮らしの中でつちかわれてきた工芸品の実用性に即したうつくしきを見てもらおう」と大阪万博に出展したものを引き継いだ。

「民藝」とは柳宗悦らが提唱した新しい美の概念で、民衆的工芸の意味。民衆の用いる日常品がもつ「用の美」に着目される。屋内の展示室は回廊式で第一展示室から第四展示室へ自然な流れでゆったりと鑑賞でき、石敷の中庭には全国各地の壺・甕・鉢が配された野外展示場となっている。本館の収蔵品を中心に、陶磁器、染織品、木漆工品、編組品など国内外の優れた工芸品を展示する。春季と秋季に、年2回の特別展を開催、記念講演もある。



生命の樹

提供：大阪府



大阪日本民芸館 第一展示室



河井寛次郎（かわいかんじろう）
與須簡描花文扁壺



横方志功（むなかたしこう）「大世界の圖『乾』— 神々より人類へ」



ダイナキューブ（津波災害体感シアター）



高潮被害トンネル

津波・高潮ステーション

地図 P6D6 P65 参照

かつて大阪を襲った高潮や、近い将来必ず大阪を襲うといわれている南海トラフ地震など、地震・津波の発生時の対応などを学べる施設。館内には大阪が海面より低いこと、潜在的な危険があることを展示で実感できる「海より低いまち大阪」や、河川に流れ込んだ海水が大阪城まで押し寄せた昭和9年（1934）の室戸台風などの過去の高潮災害を紹介するとともにその教訓から整備された防災設備を展示する「災害をのりこえ着実な高潮対策」、津波のメカニズムや対策と大きな津波災害を経験した先人の教訓などを紹介する「高潮とは異なる津波の脅威」や、日頃から心がけておきたいことや災害にあった時の適切な行動を確認し、命を守る知恵を身に付けられる「津波災害から生命を守る知恵」などのコーナーがある。音と映像によって包み込まれるような迫力の中で津波の脅威を体験できるダイナキューブ「津波災害体感シアター」などもあり、災害への備えの大切さを様々な展示で我々に伝えてくれる。団体の場合事前に予約をすればアテンダントスタッフの説明を受ける事ができる。

Amazing Kart ISK 大阪舞洲店

地図 P5B6 P62 参照

F1レーサーさながらの体験ができるサーキット施設。面積約198㎡の広々とした空間に赤と白を基調にしたカントリー風の内装が特徴。カートは1人乗りと2人乗りがあり、タイムアタックや2人で操縦を楽しめる。コースはハイスピードコースとテクニカルコースの二つに分かれており、アテンダントがライン取りとパッシングポイント、ブレーキポイントなど速度調整を説明してくれるので、初心者でも最初から路面ストレスを走るスピード感を楽しむことができる。また、カートに乗らなくても併設されたカフェでゆったりと過ごすこともできる。



大阪広域環境施設組合 舞洲工場

地図 P5B6 P62 参照

大阪湾に浮かぶ人口島舞洲にあるごみ処理施設。独特な外観は、環境保護芸術家・故フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサーのデザインで、「技術とエコロジーと芸術の調和」をあらわしている。彩色豊かで曲線が多用されている外観は、群を抜いた奇抜さの独特なもの。外観自体も見応えがあるが、事前予約で施設内も見学ができ、処理の仕組みをビデオや模型などで学ぶことができる。

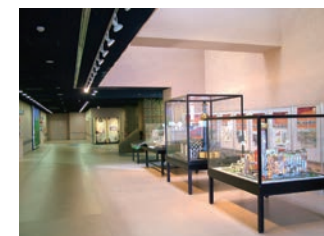
舞洲工場には、一般ごみを処理する焼却設備と粗大ごみ処理設備があり、それぞれ900t/日、170t/日のごみを処理できる。焼却されたごみは完全に灰になり埋め立て地へ送られ、大量の余熱は発電や暖房・給湯などのほか、舞洲スラッジセンターへも供給される。粗大ごみは破砕機にかけられ小片となったあと、リサイクルされる。

舞洲スラッジセンター（下水汚泥処理施設）

地図 P5B6 P66 参照

下水を処理した際に出る汚泥を処理する汚泥集中処理施設である。一日750tの汚泥を処理でき、大阪市の下水処理場から送られてくる汚泥の半分以上が集まるといふ。汚泥は脱水・乾燥・溶融の順番で処理され、最後に残る溶融スラグは埋め戻し材等に利用される。

舞洲工場と同じく、デザインは環境保護芸術家・故フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー。場内にユニークなデザインのエントランスホールや遊歩道、せせらぎ、東屋、ベンチなどは開放されているが、内部見学には事前予約が必要であり、楽しみながら環境について学ぶことができる。



大阪人権博物館（リパティおさか）

地図 P7C5 P63 参照

昭和60年（1985）に開館した博物館で、人権に関する歴史資料の収集、保存、調査研究、展示公開を行っており、人権意識の伸長に寄与している。総合展示では「いのち・輝き」「共に生きる・社会をつくる」「夢・未来」とゾーンを設け、女性、性的少数者、障害者、ホームレス、被差別部落、いじめなど、さまざまなテーマを資料と映像によって展示しているほか、特別展や企画展、イベントを随時行っている。学校向けの学習プログラムも提供しており、体験コーナーやワークシート、スターティングガイドが用意されている。京都で全国水平社が創立されたのは大正11年（1922）3月3日のことである。ここ旧西濱地区にも西濱水平社が創設されており、本館のほど近い浪速東3公園には、西濱水平社発祥之地碑が今も残る。

大正区・港区の ものづくり工場見学会

大阪市内やUSJなどへの
アクセスにも便利

ベイエリア
P34

大正区・
港区

2024年に新1万円札に起用される日本資本主義の父渋沢栄一らの手によって、現在の大正区に明治16年(1883)に操業を開始した大阪紡績会社。民間では初めて電灯設備などの近代設備で昼夜二交替制のフル操業で好成绩をあげたこの会社の成功は、大阪周辺に大紡績工場が続々誕生したきっかけとなり、明治20年代後半には「東洋のマンチェスター」と呼ばれるまでに発展する。現在でも大正区は高度な技術を有するオンリーワン企業や伝統ある企業が多く存在しており、「ものづくり」の最先端の町として発展し、その伝統や誇りを今に受け継いでいる。工場見学会では船舶・自動車・鉄道などに使用される機械や部品を製造する工場を、職人からの説明付きで見学することができ、「ものづくり」を通して『働くこと』『作ること』の素晴らしさや面白さ、大切さを学ぶ事ができる。ここでは一部紹介する。



溶接体験(飛鳥鉄工所)



ワイヤロープの加工見学(中村工業)



船舶修繕ドック見学(大阪市港湾局鶴町機械工場)



ポリテクセンター(フォークリフト作業体験)



壁紙の貼りつけ体験(フィル)



溶かした鉄を流し込む注湯(ちゅうとう)作業見学(鈴木合金)



申込の際は必ず事務局に問い合わせをして下さい。
(個別企業への問い合わせは絶対にしないで下さい)

【大正区・港区のものづくりの問合せ・申込先】

大正・港ものづくり事業実行委員会 事務局

(大正区役所政策推進課内)

TEL: 06-4394-9942 FAX: 06-4394-9989

JR大正駅(大正区)へのアクセス

JR大阪駅から環状線(内回り)で11分

JR天王寺から環状線(外回り)で8分

大阪メトロ心斎橋駅から長堀鶴見緑地線(大正行)で7分
各工場へは大正橋(大正駅近く)からの大阪シティバスで交通が便利です。





有限会社 南歯車製作所 地図 51A1

所在地：〒552-0007 大阪市港区弁天6丁目4番31号
最寄駅：JR、Osaka Metro 弁天町駅から徒歩10分



体験プログラム内容

長い軸の付いた歯車や、歯車から派生したスプラインという加工など他社にできない歯切り加工を得意としており、同業者からの依頼や相談が多い抜群の実績と技術を持つ会社。会社概要の説明から、工場内の見学、そして歯車を加工するための工具を実際に使用してのバリ取り体験もできる。※バリ取り体験は日によって利用できない場合あり。

定員 10～15名
プログラム料金 有料(要問合せ)
所要時間 60～90分



見学時間 月～金(祝日・年末年始を除く)
9～16時(12～13時を除く)
休日 日曜日、祝日、年末年始
特記事項 都合により見学できない場合がある。



成光精密 株式会社 地図 51B1

所在地：〒552-0001 大阪市港区波除1丁目4番35号
最寄駅：JR、Osaka Metro 弁天町駅から徒歩10分



体験プログラム内容

機械部品・電気部品等、あらゆる金属の加工品、産業用機械の設計・製作を行っている。他社では困難な精密加工を得意とし、高水準の品質保証と、小ロット、超短納期での試作開発が強み。平成30年(2018)にガレージミナトをオープンし、研究者・技術者・ベンチャー企業等が持つアイデア・先端技術を本格的なカタチにする支援している。企業概要の説明から、工場内の作業風景、様々な種類のサンプルを見学できる。

定員 10～15名
プログラム料金 有料(要問合せ)
所要時間 90分



見学時間 月～金(祝日・年末年始を除く)
9～16時(12～13時を除く)
休日 日曜日、祝日、年末年始
特記事項 都合により見学できない場合がある。



有限会社 飛鳥鉄工所 地図 51C3

所在地：〒551-0003 大阪市大正区千島1丁目1番47号
最寄駅：JR、Osaka Metro 大正駅から大阪シティバスのバス停「大正橋」乗車→「南泉尾」下車(所要5分)



体験プログラム内容

主に鉄・ステンレス・鋳鉄を材料として精度の高い機械加工業務を行っている。機械加工と溶接が組み合わさった加工を得意としており、工業用ガスバーナーやその附帯設備の製作では、工程にある旋盤加工、フライス加工、折り曲げ、溶接、組み立てと多数の工程を一箇所ですべて仕上げています。旋盤加工若しくはフライス盤による切削加工やボール盤の穴あけ加工が見学でき、実際に溶接を行う体験もできる。

定員 10～15名
プログラム料金 有料(要問合せ)
所要時間 90分



見学時間 月～金(祝日・年末年始を除く)
9～16時(12～13時を除く)
休日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
特記事項 都合により見学できない場合がある。



大阪市港湾局 鶴町機械工場 地図 51A5

所在地：〒551-0023 大阪市大正区鶴町2丁目20番47号
最寄駅：JR、Osaka Metro 大正駅から大阪シティバスのバス停「大正橋」乗車→「鶴町2丁目」下車(所要19分)



体験プログラム内容

大阪市保有船舶や港湾施設の維持管理を行う工場。船舶を整備するためのドック施設や工場、高潮や津波に備えて海岸に設置されている鋼鉄製の巨大な扉(防潮扉)等を見学できる。また、防潮扉の見学では実際に開閉操作を体験し、防災に対する認識を深められる。

定員 ～40名
プログラム料金 有料(要問合せ)
所要時間 90分



見学時間 月～金(祝日・年末年始を除く)
9～16時(12～13時を除く)
休日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
特記事項 都合により見学できない場合がある。

神戸エリア



西館 減災ワークショップ

人と防災未来センター

地図外・上図参照 P67 参照

平成7年(1995)1月17日午前5時46分、阪神・淡路大震災が発生し、6400人を超える犠牲者を出した。

ここは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、今後各地で発生が予想される災害による被害の軽減に貢献するとともに、震災で再認識された「いのちの尊さ」や「共に生きることの素晴らしさ」などを伝える施設。

西館と東館に分かれ、**西館**は「震災追体験フロア」「震災の記憶フロア」「防災・減災体験フロア」がある。特に「震災追体験フロア」では、地震の凄まじさを体感する「1.17シアター」、模型であらわされた「震災直後のまち」、復興に至るまでのまちと人を新たな課題とともにドラマで紹介する「大震災ホール」などがあり、防災・減災に関する様々な情報を発信し続けている。

東館は水の恵みとともに、風水害・津波などの脅威について学ぶことができる「水と減災について学ぶフロア」、東日本大震災のドキュメンタリー映像を上映する「こころのシアター」がある。

南京町

地図外・右図参照 P67 参照

南京町の誕生は、明治元年(1868)、神戸港開港の年と言われている。当時在日中国人たちの多くが元町の南エリアに住居を構え、付近に料理屋や洋服屋、豚肉屋、漢方店など様々な商店を開店させたのが、南京町の発祥だという。

南京町広場を中心に東西約270m、南北約110mの十字型に広がる街路には、中国料理店や輸入雑貨店、食材店など100を超える店舗がぎっしり。ところどころにある洋菓子店が神戸らしさをかもし出している。露店も多く、休日にはほとんど緑日の雰囲気味わえる。



西館 災害情報ステーション

第二次世界大戦後で一時的に衰退した南京町だが、昭和56年(1981)から復興が始まる。南京町のシンボルでもある長安門(東楼門)や海楽門(南楼門)、あずまやはこの頃に作られ、昭和62年(1987)には、南京町の年中行事として名高い春節祭が始まった。

春節祭とは、旧暦(太陰暦)の新年の元日を祝う祭。躍動感あふれる龍舞は迫力満点。他にも、獅子舞をはじめ数多くの出し物で賑わい、チャイナ気分をさらに盛り上げてくれる。期間中、本場の正月料理を出す店もある。

平成10年(1998)には、中秋祭が始まり、平成17年(2005)には西安門が完成するなど、南京町は進展し続けている。



西安門



見学・体験施設一覧

	名称	電話・住所・交通(→は徒歩所要分)	時間・休み(年末年始は除く)	料金ほか	参照頁 地図
あ	アクアライナー	0570-03-5551(予約センター)	1時間ごとに出航(出航時刻は季節・曜日により異なる) 休日 1月・2月に数日	周遊コース:一般1740・小学生870円(特別期間別途)、その他区間乗船券あり 所要時間 55分	58
	朝日新聞大阪本社 アサコムホール	06-6201-8033 大阪市北区中之島2-3-18中之島フエスティバルタワー 交通 四つ橋線 /肥後橋駅(4番出口)より直結、京阪中之島線/邊辺橋駅(12番出口)より直結	11時～12時20分・13時30分～14時50分(1日2回) 休日 土曜・日曜・祝日・アサコムホールで催事がある場合	入場無料 先着順の事前予約制、大阪工場とのセット見学もある 所要時間 80分	18 16B1
	あべのハルカス (ハルカス300)	06-6621-0300 大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43 交通 JR各線・ 御堂筋線 ・ 谷町線 /天王寺駅(南口)よりすぐ、近鉄南大阪線/大阪阿部野橋駅(西改札口)よりすぐ	9時～22時(最終入場は21時半) 休日 無休	一般1500・中高1200・小学生700・幼児500円 所要時間 60分	33 30C3
	阿倍野防災センター (あべのタスカル)	06-6643-1031 大阪市阿倍野区阿倍野筋3丁目13-23 あべのフォルサ3階 交通 谷町線 /阿倍野駅(2・7出口)→5分、 御堂筋線 /天王寺駅(12出口)→8分	10時～18時 休日 水曜・毎月最終水曜(祝日の場合翌日)	無料 所要時間 60分	33 30B3
	安倍晴明神社	06-6622-2565 大阪市阿倍野区阿倍野元町5-16 交通 阪堺電軌上町線/東天下茶屋駅→5分	参拝自由(授与所は9時～17時) 休日 無休	所要時間 30分 安倍晴明生誕の地と伝わる	— 5C3
い	Amazing Kart ISK 大阪舞洲店	06-6466-2022 大阪市此花区北港緑地2 交通 JRゆめ咲線/桜島駅→アクティブパス乗換で15分[ロッジ舞洲前]降車、徒歩5分	12時～22時(土曜・日曜・祝日は10時～、雨天・季節により異なる) 休日 年中無休	一人乗りカート5周3000円(ジュニア用等、多数種類あり) 所要時間 60分	46 5B6
	アメリカ村	大阪市中央区西心斎橋1～2丁目付近 交通 御堂筋線 ・ 長堀鶴見緑地線 /心斎橋駅よりすぐ、 四つ橋線 /四ツ橋駅よりすぐ	店舗により異なる		28 26A2
	いづくにもあふ生魂魂神社	06-6771-0002 大阪市天王寺区生玉町13-9 交通 谷町線 ・ 千日前線 /谷町九丁目駅→3分	参拝自由(9時～17時、季節により異なる) 休日 無休	所要時間 20分 現在の大阪城付近(石山崎)にあった延喜式名神大社。大阪城築城の際に移された。	— 7B3
	いままやえびす今宮 戎 神社	06-6643-0150 大阪市浪速区恵美須西1-6-10 交通 南海高野線/今宮戎駅よりすぐ、 御堂筋線 ・ 四つ橋線 /大国町駅(3番出口)→5分、堺筋線/恵美須町駅(5番出口)→5分、JR大阪環状線/新今宮駅(東改札出口)→10分	参拝自由(9時～17時) 休日 無休	所要時間 20分	31 30A1
	梅田スカイビル 空中庭園展望台	06-6440-3855 大阪市北区大淀中1-1-88梅田スカイビル 交通 御堂筋線 /梅田駅(5番出口)→9分、JR/大阪駅(中央北口)→9分、阪急/大阪梅田駅(茶屋町口)→9分	9時半～22時半(最終入場22時、特別営業日あり)	中学生以上1500・小学生以下700円(学校団体:高中生500・小学生以下200円) 所要時間 60分	13 12A1
う	梅田芸術劇場	06-6377-3800 大阪市北区茶屋町19-1 交通 阪急/大阪梅田駅(茶屋町口)→3分	公演により異なる	リニューアルした旧梅田コマ劇場。	— 6A4
	ATCエイジレスセンター	06-6615-5123 大阪市住之江区南港北2丁目1-10 ATCビルITM棟11階 交通 ニュートラム /トレードセンター前駅よりすぐ	10時～17時 休日 月曜	無料 所要時間 60分	37 34A3
	EXPO'70パビリオン	06-6877-4737 吹田市千里万博公園1-1 交通 大阪モノレール/公園東口駅→12分	10時～17時(入館は～16時半) 休日 水曜(繁忙期は営業日あり)	高校生以上210円・中学生以下無料 所要時間 20分	41 38 4A2・3
	江崎記念館	06-6477-8257 大阪市西淀川区歌島4-6-5 交通 JR東海道本線/塚本駅(西出口)→16分、JR東西線/御幣島駅→18分	10時～16時(入館は30分前まで) 休日 土曜・日曜・祝日・お盆	入場無料(前日までに要予約) 2020.2～8頃休館予定 所要時間 60分 菓子メーカー「江崎グリコ」の記念博物館	— 4D4
	NHK大阪放送局 BKプラザ	06-6937-6020 大阪市中央区大手前4-1-20大阪放送館内 交通 谷町線 ・ 中央線 /谷町四丁目駅(2・5・9番出口)よりすぐ	10時～18時(入館は～17時半) 休日 火曜・他	入場無料 所要時間 20分 公開生放送を行う「プラザスタジオ」などを見学。※団体20名以上要予約	— 22A3
お	OSAKA ENGLISH VILLAGE(オオサカイングリッシュビレッジ)	06-6170-7080 吹田市千里万博公園2-1 EXPOCITY内 交通 大阪モノレール/万博記念公園駅→2分	10時～18時(チケット販売は9時半～17時) 休日 不定休(ららぽーとEXPOCITYに準ずる)	1レッスン1650円(引率のみは入場料550円)入場予約はHPから(レッスンは当日先着順) ※団体での予約は要問合せ 所要時間 1レッスン:30分	40 38 4A2・3
	おおさかATC グリーンエコプラザ	06-6615-5888 大阪市住之江区南港北2丁目1-10 交通 ニュートラム /トレードセンター前駅よりすぐ	10時～17時 休日 月曜	無料 所要時間 60分 団体見学プログラムあり(要予約)	36 34A3
	大阪科学技術館 (てくてくテクノ館)	06-6441-0915 大阪市西区靱本町1-8-4 交通 四つ橋線 /本町駅(28番出口)よりすぐ、 御堂筋線 /本町駅(2番出口)→7分	10時～17時(日祝日は16時半閉館) 休日 第1・3月曜・祝日・夏期・冬期	入場無料 所要時間 60分	17 16B3
	大阪企業家 ミュージアム	06-4964-7601 大阪市中央区本町1-4-5大阪産業創造館地下1階 交通 堺筋線 ・ 中央線 /堺筋本町駅(12番・1番出口)→5分	10時～17時、水曜は～20時(入館は閉館の30分前まで) 休日 日・月・祝日・お盆	一般300・大高100円・小学生以下無料(一般同伴のみ) 所要時間 60～90分	17 16E4
	大阪くらしの今昔館	06-6242-1170 大阪市北区天神橋6-4-20住まい情報センタービル8階 交通 谷町線 ・ 堺筋線 ・阪急千里線/天神橋筋六丁目駅(3番出口)より直結、JR大阪環状線/天満駅→7分	10時～17時(入館は～16時半) 休日 火曜(臨時休館あり)	一般600・大高300円・中学生以下無料 所要時間 60分	20 20B1
か	大阪広域環境施設組合 舞洲工場	06-6463-4153 大阪市此花区北港白津1-2-48 交通 JRゆめ咲線/桜島駅→アクティブパス乗換で7分[環境施設組合前]降車、すぐ	10時～13時～15時～ 休日 土・日曜・祝日・他	入場無料(事前予約制) 所要時間 90分	47 5B6
	大阪市立自然史博物館	06-6697-6221 大阪市東住吉区長居公園1-23 交通 御堂筋線 /長居駅(3番出口)→8分	9時半～17時(11月～2月は～16時半、入館は30分前まで) 休日 月曜(祝日の場合翌平日)	一般300・大高200円・中学生以下無料、特別展別途 所要時間 60分	48 5D3
	大阪四季劇場	0570-008-110 大阪市北区梅田2-2-22ハープスPLAZAENT7階 交通 阪神本線/梅田駅よりすぐ、JR/大阪駅よりすぐ、JR東西線/北新地駅よりすぐ、 四つ橋線 /西梅田駅よりすぐ、 御堂筋線 /梅田駅→5分、 谷町線 /東梅田駅→6分、阪急/大阪梅田駅→12分	公演により異なる	劇団四季の関西での拠点。	— 12B3

	名称	電話・住所・交通(→は徒歩所要分)	時間・休み(年末年始は除く)	料金ほか	参照頁 地図
お	大阪市中央公会堂	06-6208-2002 大阪市北区中之島1-1-27 交通 御堂筋線 /淀屋橋駅(1番出口)→5分、京阪中之島線/なにわ橋駅(1番出口)よりすぐ	9時半～21時半 休日 第四火曜(祝日の場合翌日)	自由見学エリアは無料 所要時間 30分	19 16C1
	大阪市中央卸売市場	06-6469-7850 大阪市福島区野田1-1-86 交通 JR大阪環状線/野田駅→12分、 千日前線 /玉川駅→12分	受付時間9時～17時(所要観覧時間は2時間) 休日 日曜・祝日・臨時	※設備見学:見学日・月曜～土曜 見学時間:午前8時45分以降 見学人数:50人まで(1グループあたり) ※見学は要予約。 予約要項については、直接お問合せ 所要時間 120分 日本最大級の場内には、一日約2900t、年間約70万t以上の鮮魚や野菜、果物、乾物類などの食材が日本や世界各地から集まる。	— 6D6
	大阪城公園	06-6755-4146(大阪城/パークセンター) 大阪市中央区大阪城 交通 谷町線 /天満橋・谷町四丁目駅(3番・1-8番出口)→15分、 中央線 /森/宮駅(1-3・B番出口)→15分、 長堀鶴見緑地線 /大阪ビジネスパーク駅・森/宮駅(1番・3-B番出口)→15分、JR大阪環状線/森/宮駅・大阪城公園駅→15分、JR東西線/大阪城北詰駅→15分、京阪本線/天満橋駅→15分	施設により異なる	入場無料(但し、園内各施設利用料設定有) 所要時間 120分	24 22B2
	大阪城天守閣	06-6941-3044 大阪市中央区大阪城1-1 交通 谷町線 /天満橋駅・谷町四丁目駅(3番・1-8番出口)→15分、 中央線 /森/宮駅(1-3・B番出口)→15分、 長堀鶴見緑地線 /大阪ビジネスパーク駅・森/宮駅(1番・3-B番出口)→15分、JR大阪環状線/森/宮駅・大阪城公園駅→15分、JR東西線/大阪城北詰駅→15分、京阪本線/天満橋駅→15分	9時～17時(入館は～16時半) 休日 年末年始のみ	高校生以上600円・中学生以下無料 所要時間 60分	22 22B2
	大阪城公園 西の丸庭園	06-6941-1717 大阪市中央区大阪城2 交通 アクセスは大阪城天守閣に同じ	9時～17時(11～2月は～16時半、入園は30分前まで) 休日 月曜(祝日の場合翌日)	高校生以上200円・中学生以下無料 所要時間 60分	25 22B2
か	大阪市立科学館 (夢宙とさめき館)	06-6444-5656 大阪市北区中之島4-2-1 交通 四つ橋線 /肥後橋駅(3番出口)→8分	9時半～17時(券の発売は～16時半、入館は～16時半、プラネタリウム最終投影16時～) 休日 月曜(祝日の場合翌日)・他	一般400・大高300円・中学生以下無料(展示場) 展示入場は～16時半、プラネタリウム最終投影16時～ 所要時間 100分	18 16A2
	大阪市立美術館	06-6771-4874 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 交通 JR大阪環状線/天王寺駅(中央出口)→10分、 谷町線 ・ 御堂筋線 /天王寺駅(15・16番出口)→10分、近鉄南大阪線/阿部野橋駅(西改札出口)→10分	9時半～17時(入館は～16時半) 休日 月曜(祝日の場合翌日)・展示替え期間	一般300・大高200円・中学生以下無料(特別展などは別途料金)	32 30B2
	大阪人権博物館 (リパティおおさか)	06-6561-5891 大阪市浪速区浪速西3-6-36 交通 JR大阪環状線/芦原橋駅(南出口)よりすぐ、南海汐見橋線/木津川駅よりすぐ	10時～16時(入館は～16時前まで) 休日 日・祝日・月・火、各月最終金・土(月末が金曜日の場合、金のみ)、詳細は問合せ	一般500・高300・中小生200円 所要時間 90分	47 7C5
	大阪ステーションシティ (JR大阪駅)	06-6458-0212 大阪市北区梅田3-1-3 交通 JR/大阪駅・ 御堂筋線 /梅田駅よりすぐ、 四つ橋線 /西梅田駅・阪神電車/大阪梅田駅→5分	店舗により異なる	所要時間 60分 有料のガイドツアー(予約制)と無料のパンフレットによるガイドツアーがある	13 12B2
	大阪天満宮	06-6353-0025 大阪市北区天神橋2-1-8 交通 谷町線 ・ 堺筋線 /南森町駅(4番口)→5分、JR東西線/大阪天満宮駅(7番口)→5分	参拝自由(社務所9時～17時)	所要時間 30分	21 20B3
か	日本取引所グループ 大阪取引所(OSE)	06-4706-0800(見学:金融リテラシーサポート部) 大阪市中央区北浜1-8-16 交通 堺筋線 /北浜駅(18出口)より直結、京阪本線/北浜駅(27・28番出口)より直結、 御堂筋線 /淀屋橋駅(地下道直結)→7・8分	9時～16時半(受付は～16時) 休日 土曜・日曜(休業日は要確認) 所要時間 60分	一般見学:無料・随時(4F受付) 団体見学:無料・事前予約制(10時～11時・14時～15時)・応相談 所要時間 60分	18 16D2
	大阪日本民芸館	06-6877-1971 吹田市千里万博公園内10-5 交通 大阪モノレール/万博記念公園駅→15分・公園東口駅→10分	10時～17時(入館は～16時半) 休日 水曜・夏期・冬期	一般710・大高450・中小生100円(20名以上は団体割引あり) 所要時間 30分	39 38 4A2・3
	大阪府警察 コミュニティプラザ	06-6363-8283 大阪市北区曽根崎2-16-14 曽根崎警察署地下 交通 谷町線 /東梅田駅→3分、 御堂筋線 /梅田駅→5分、JR/大阪駅→5分	10時～18時 休日 月曜 コンサート開催日は制限あり	無料 所要時間 30分 警察の仕事身を近知知る施設。パトカーや白バイなどを展示している。	— 12C2
	大阪歴史博物館	06-6946-5728 大阪市中央区大手前4-1-32 交通 谷町線 ・ 中央線 /谷町四丁目駅(2番・9番出口)よりすぐ	9時半～17時(特別展会期中の金曜は～20時、入館は開館30分前まで) 休日 火曜(祝日の場合翌日)	一般600・大高400円・中学生以下無料(特別展別途) 所要時間 90分	23 22A3
	海遊館	06-6576-5501 大阪市港区海岸通1-1-10 交通 中央線 /大阪港駅(1番出口)→5分	10時～20時(入館は1時間前まで)、季節によって変動あり 休日 無休(年数日休みあり)	高校生以上2300・中小生1200・幼児(4歳以上)600円 所要時間 120分	35 34C1
か	カップヌードル ミュージアム	072-752-3484 池田市満寿美町8-25 交通 阪宝急彦線/池田駅→5分	9時半～16時半(入館は～15時半) 休日 火曜(祝日の場合翌日)	無料(アトラクションは有料、チキンラーメンファクトリー・中学生以上500・小学生300円) 所要時間 90分	42 4A5
	かねふくめんたいパーク ATC	06-6616-0089 大阪市住之江区南港北2丁目1-10 ATCEビルITM棟2階G-1 交通 ニュートラム /トレードセンター前駅よりすぐ	11時～18時半 休日 臨時休あり	無料 所要時間 30分	37 34A3
	上方浮世絵館	06-6211-0303 大阪市中央区難波1-6-4 交通 御堂筋線 ・ 千日前線 /なんば駅(16番)よりすぐ	11時～18時(入館は～17時半) 休日 月曜(祝日の場合翌日)	高校生以上500・中学生以下300円 所要時間 30分	28 26B3

※入館時間は記載時間とは異なる場合があります。駅からの所要分や物件での所要時間は目安です。
※なお、記載内容は2019年11月現在のものです。各施設の事情により、料金・時間などは予告無く変更されることがありますので、事前のご確認をおすすめします。

行程計画ワークシート

見学スポット	見学のポイント・知りたいこと・聞きたいこと（質問リスト）
①	
②	
③	
④	

行程計画の作り方

- 1.出発地と出発時間・集合場所と集合時間、
見学地①～④を記入(チェックポイントなども)
- 2.乗車駅名・乗り物・下車駅名を記入
(参考本書P10～P11、P62～P67)
- 3.乗車駅までと見学地までの徒歩時間を記入
(参考本書P62～P67)
- 4.各公共交通機関のHPから乗車時間・下車時間・
移動時間・料金を記入

Osaka Metro(大阪メトロ)
<https://www.osakametro.co.jp/>
JRおでかけネット
<http://www.jr-odekake.net/>
阪急電車 <http://rail.hankyu.co.jp/>
京阪本線 <http://www.keihan.co.jp/>
阪神電車 <http://rail.hanshin.co.jp/>

- 5.見学地での見学所要時間と料金を記入
(参考本書P62～P67)
- 6.見学地の到着時間と出発時間を記入
- 7.費用を合計する
- ※行動計画は余裕をもって作成してください

出発地	到着	時	分
↓ 徒 歩(分)			

駅 名	乗車	時	分	費用
乗り物	移動	(分)		
駅 名	下車	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

①見学地	到着	時	分	費用
	見学 (分)			
	出発	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

駅 名	乗車	時	分	費用
乗り物	移動	(分)		
駅 名	下車	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

②見学地	到着	時	分	費用
	見学 (分)			
	出発	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

駅 名	乗車	時	分	費用
乗り物	移動	(分)		
駅 名	下車	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

③見学地	到着	時	分	費用
	見学 (分)			
	出発	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

駅 名	乗車	時	分	費用
乗り物	移動	(分)		
駅 名	下車	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

④見学地	到着	時	分	費用
	見学 (分)			
	出発	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

駅 名	乗車	時	分	費用
乗り物	移動	(分)		
駅 名	下車	時	分	
				円
↓ 徒 歩(分)				

集合場所	到着	時	分
------	----	---	---

移動時間	合計	分	%
見学時間	合計	分	%
昼食時間	合計	分	%
買い物・その他	合計	分	%
計画時間の総計	合計	分	100 %

交通費	円	費用合計
見学料金	円	
昼食・飲み物代	円	
その他	円	

修学旅行・校外学習中の地震の対処

今日起こるかも知れない地震。緊急事態に対する場所ごとの対処法を紹介します。

■屋外にいた場合

- (1) 頭上に注意。(建物から離れるが、建物にくっつくかの判断をする)
- (2) 車が突っ込んでくるかもしれない。(交通量の多い道路は歩道にいても危険性が高い)
- (3) 陥没や亀裂から離れる。(足を取られてケガや避難が遅れる可能性)
- (4) 水辺から離れる。
(海岸沿いだと津波に襲われる可能性)

■商業ビルや映画館にいた場合

- (1) 窓際から離れ、姿勢を低くし、頭を保護する。(持っている荷物が近くにあるもので頭をカバーする)
- (2) 停電に備える。
(暗闇の中でも移動できる準備をする)
- (3) 火災に備える。(ビニール袋やハンカチなど煙から身を守る準備をする)
- (4) パニックに巻き込まれない。
(絶対に出入り口に殺到しない)
- (5) エレベーターに乗らない。
- (6) あわてて逃げ出す必要はない。
(強い揺れが収まってから判断)
- (7) 場内放送に注意する。
(係員の指示があればその指示に従う)

■地下街にいた場合

- (1) 出口方向を確認する。
- (2) 落下物に注意。
- (3) 暗闇と有毒ガスに注意。
(火災で発生した有毒ガスには透明のビニール袋があれば頭からすっぽりかぶれば守ってくれる)
- (4) 人の流れに身を任さない。(地下出口は数カ所ある)

■電車に乗っていた場合

- (1) 自分の体勢の確保。
(急停車するが、脱線する可能性)
- (2) 車内アナウンスに従うこと。
(日頃訓練している車掌が運転手の指示に従う)

- (3) 非常用ドアコックを開ける。
(近くにいる人はドアを開ける)→車内アナウンスがなければ安全確認をして車外に脱出する。
- (4) 非常ボタンを押す。(二重事故防止の為)

■エレベーターに乗っていた場合

- (1) 全ての各階のボタンを押す。
(とりあえず外に出る)
- (2) 止まっても冷静になる。
- (3) 緊急用インターホンで管理者や外部に連絡。

■バスの中にいた場合

- (1) 手すりやつり革につかまる。(事故の可能性)
- (2) 運転手の指示に従う。
(大型バスなどは衝撃を吸収するサスペンションがついている比較的安全)
- (3) 降車時は注意。(他の車が暴走、周囲の建物が倒壊している可能性)

■駅やホームにいた場合

- (1) 頭を保護する。(持っている荷物が近くにあるもので頭をカバーする)
- (2) 線路に下りない。(電車がくる可能性)
※線路に落ちた場合はホーム下の避難場所に駆け込むこと。

■新幹線にいた場合

- (1) 窓際から離れ、姿勢を低くし、頭を保護する。(持っている荷物が近くにあるもので頭をカバーする)
- (2) 乗務員の指示に従う。

■宿泊先にいた場合

- (1) 窓際から離れ、姿勢を低くし、頭を保護する。(持っている荷物が近くにあるもので頭をカバーする)
- (2) 従業員の指示に従う。
※ホテルの部屋には災害時の避難通路案内などが必ずありますので、部屋に着いたら、これらの資料に必ず目を通して置くようにしましょう。

【大阪観光に便利な問合せ先】

- イベント情報、観光施設情報、近隣情報、乗換案内などを案内

Osaka Call Center 06-6131-4550 (7時～23時・年中無休)

- JR大阪駅中央改札口前に位置する観光案内所

大阪観光案内所 06-6131-4550 (9時～17時半)

- 大阪市の手続きや、制度、イベント情報を案内

大阪市総合コールセンター (なにわコール) 06-4301-7285 (8時～21時・年中無休)

- Osaka Metro・大阪シティバスの時刻表、乗継方法、所要時間や運行情報などを案内

Osaka Metro・シティバス案内コール 06-6582-1400 (8時～21時・年中無休)

- JRの運賃・料金・時刻・運行情報などを案内

JR西日本お客様センター 0570-00-2486又は078-382-8686 (6時～23時・年中無休)

- 阪神電車の時刻表・運賃・沿線行事などを案内

阪神電気鉄道 運輸部営業課 06-6457-2258 (9時～17時・土日祝休日、年末年始を除く)

- 阪急電車の運行状況などを案内

阪急電鉄交通ご案内センター 0570-089-500(平日9時～22時・土日祝日9時～19時)

【神戸観光に便利な問合せ先】

一般財団法人 神戸観光局 078-230-1120

神戸市総合インフォメーションセンター 078-322-0220 (9時～19時・年中無休)

修学旅行・校外学習 大阪見学体験ガイド 散策&鑑賞 大阪編 最新版

定価 本体690円+税

2020年3月1日 第1版第1刷

発行人	橋本良郎
発行所	株式会社ユニプラン 〒601-8213京都市南区久世中久世町1丁目76番地 TEL.075-934-0003 FAX.075-934-9990
振替口座	01030-3-23387
写真提供	©(公財)大阪観光局
編集スタッフ	橋本豪 鈴木正貴 ユニプラン編集部
制作スタッフ	岩崎宏
印刷所	株式会社プリントパック
ISBN	978-4-89704-493-4 C2026